

アフレコにチャレンジへの思い

アフレコにチャレンジの部分で使用をしているビデオは映画トラさんシリーズの中からの一場面です。著作権の問題があり、実際のビデオで収録できなかった部分と、解説できなかった部分があり、この印刷物にて少し追加の解説をさせていただきます。

使用した場面は、映画「男はつらいよ———僕のおじさん」の1シーンで、トラさんこと渥美清と後藤久美子が、私の勤務校である小城高校の校門で会話をしている場面です。生徒にとって身近な映画を使用することで、アフレコへの動機付けを高めるためにこの場面を使用しています。この映画の収録は、約10年ほど前に行われたものですが、生徒にとっては興味津々という感じです。私が英語の映画のほかに日本語の映画を使う理由もまさにそこにあります。最近では「千と千尋」を使って見ました。「先生と生徒がともに楽しめる」という視点を持って、ほかの映画を使ってのアフレコにチャレンジしてみようと思っていたら幸いです。

また、ナレーションにチャレンジも、実際の授業では Mr. ビーンの映画を使って、それに ALT の英語をシンクロナイズさせたものを使っています。シンクロナイズするためにはパソコンを使いました。編集ソフトはアドビミレニアムというソフトを使いました。これも著作権の問題が発生するという観点から、本ビデオのような映像を使いました。ビーンの映画のほうがはるかに楽しめるということはいまでもありません。

以上のようなこと考慮いただいて、参考にいただければ幸いです。では乱文にて失礼いたします。

佐賀県立小城高等学校 教諭 執行 正治